樹脂管バイス取扱説明書

■はじめに

(1)この取扱説明書はＭＣＣ樹脂管バイスの基本的な操作と安全な取扱方法が記載してあります。

品　名　呼び	品　　番
樹脂管用バイス　２００	ＪＰＶ－２００

(2)この取扱説明書では、もしお守りいただかないと大きな事故が発生する恐れのある注意事項は「警告」という見出しの下に記載されています。また、もしお守りいただかないと工具の破損とともに事故を誘発する恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されています。

(3)ご使用にあたってはこの取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく作業を行ってください。
この取扱説明書に記載されている操作方法及び安全に関する注意事項は、樹脂管用バイスを指定の目的に使用する場合のみに関するものです。
この取扱説明書に記載されていない使用方法を行う場合に、必要な安全に対する配慮はすべてご自分の責任とお考え下さい。

(4)この取扱説明書は、実際の作業をされる方が、いつも手元においてご使用ください。

■使用目的

(1)主としてポリエチレンパイプ・ポリブテンパイプ・塩化ビニルパイプなどの切断時に、パイプを拘束するための工具です。

■仕様

(1)使用対象管
ポリエチレン管・ポリブテン管・塩化ビニル管など樹脂製の管

(2)拘束能力
樹脂管　　[呼び　２００（最大外径φ２１６mm）まで]

※この商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■安全に対する注意事項

⚠警告

(1)この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲で使用してください。指定している使用対象管以外の鋼管などにご使用になりますと、十分な拘束力が得られず重大な事故に結び付くことがありますので、樹脂管以外には絶対に使用しないでください。

(2)バイスはご使用の前に必ず作業台・専用三脚・作業車などに確実に固定してください。バイスが確実に固定されていないままご使用になりますと重大な事故に結び付くことがあります。

⚠注意

(1)チェン締付ノブは約１５ｋｇ（トルク＝４０～５０ｋｇｆ・ｃｍ）で締め付ければ、管の拘束に十分な力が得られます。過大なトルクを加えるとパイプが変形したり工具が破損し、けがをする恐れがありますので過大なトルクを加えないようにしてください。

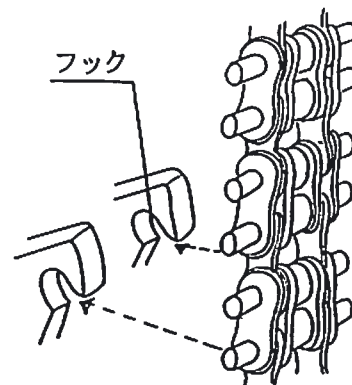
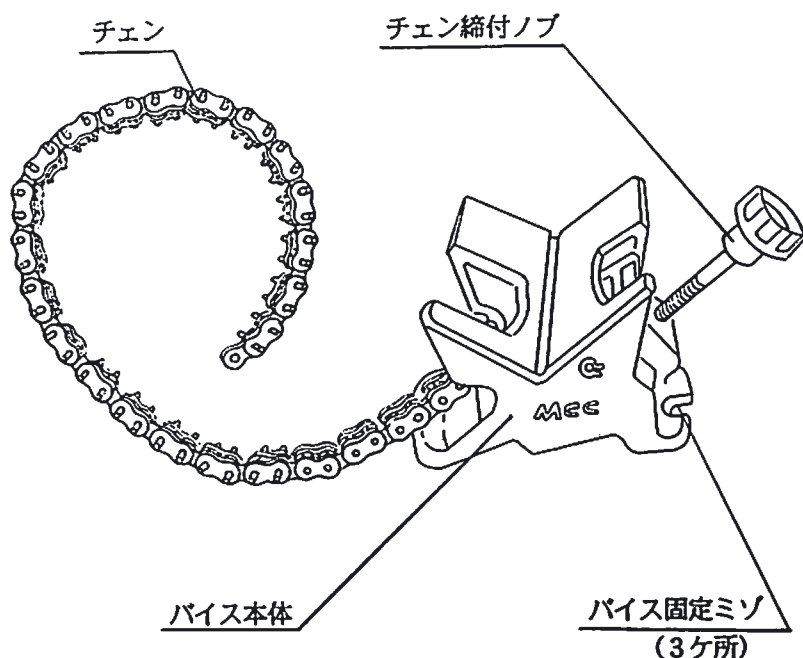
(2)バイスのチェンを延長するなど、改造は絶対にしないでください。工具が破損するばかりか、事故の原因となる恐れがあります。

(3)バイスの各部は常に点検を行い、損傷のある状態では使用しないでください。

■作業の前に

(1)バイスは作業を開始する前に、必ず、作業台または専用三脚、作業車などに確実に固定してください。
※取り付けは六角ボルト（Ｍ１２×６０）・六角ナット（Ｍ１２）・平座金（呼１２）を使用してください。

(2)日常の点検・メンテナンス
①バイス本体各部に損傷はないか、ボルト・ナットが緩んでいないか、またチェン及びチェン取り付けピンが外れたり、損傷していないかを点検し、ボルト・ナットが緩んでいれば、増し締めを行ってください。
②点検の結果、各部の損傷などが見つかった場合は、品名・サイズ・異常のある個所などを明確にして、お買い求めの販売店または裏面の連絡先まで修理をご依頼ください。

■各部の名称

■操作方法

●樹脂管バイスの操作は必ず締め付けノブ・チェンフックの側から操作してください。

(1)操作手順

①締め付けノブを左へ回し緩めて下さい。（図1）
※締め付けノブはいっぱいまで完全に戻しておいてください。

②チェンを前方へ広げ、伸ばして下さい。（図1）

③拘束しようとするパイプをバイスのパイプ受け部（V字型）へ載せてください。（図2）

④チェンがたわまないように注意しながらパイプに廻し、チェンフックに引っ掛けてください。（図3）

⑤チェンがチェンフックから外れないように、軽く手を添えながら締め付けノブを右に回し、締め付けてください。（図4）

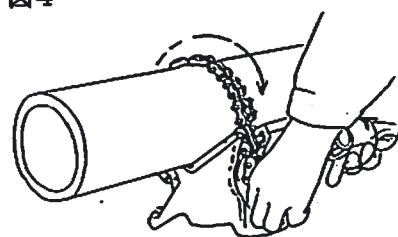
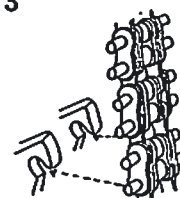
※締め付け力は約４０～５０ｋｇｆ・ｃｍ程度（少し力を入れる程度）

注：最適な締め付けトルクはパイプの種類（肉厚・サイズ）・長さ・温度などの条件により変えることが必要です。パイプの状態を確認しながら締め付けてください。

図1

図2

図3

図4

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎ (059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp